

教職員研究グループ活動状況報告書

代表者の所属・職・氏名	川西市立東谷小学校 教諭 高橋 忠大	研究グループ名 (川西市理科教育研究会)
-------------	-----------------------	---------------------------

研究テーマ分類番号 (1 7)

(1)研究テーマ	
ICT を活用した小学校理科教育の実践と推進 予想や仮説を大切に観察・実験等を重視した小学校理科教育の実践と推進	
(2)研究経過及び具体的な取組	
6月15日	年間研究実施計画の検討 ・場 所：東谷小学校 ・内 容：JST が運営する「理科ねっとわーく」やIPA による「教育教画像素材集」など、ネット上にある様々な教育用デジタルコンテンツの特性などをお互いに紹介しあう。また、過年度までの「ICT 機器の活用とその工夫」「自作ワークシート」についての取り組みについて実践を交流しあい、今後の年間研究計画の検討を行った。
7月21日	講習会及び実地調査 ・場 所：東谷小学校及び猪名川流域 ・内 容：対防水、対衝撃対応のデジカメの使い方について講習をした後、川西市、猪名川町の猪名川流域に分布する丹波帯、超丹波帯の地層を観察。その後、悠久の里を訪問の後、多田銀山の間歩跡などで岩石を中心にした実地調査を行った。
8月23日	理科実験講習会 ・場 所：桜が丘小学校 ・内 容：主に、4, 5, 6 年生で2学期以降に行う予定の理科実験について、予備実験を行いながら意見交流を行った。また、発展的な理科実験として、ペットボトルを使った「雲を発生させよう」。空き缶を使った「水蒸気の力」。風船を使った実験などのおもしろ実験ミニ講習会を行った。
11月 2日	デジタルコンテンツを使った理科授業の交流 ・場 所：東谷小学校 ・内 容：「便利な昆虫標本採集の仕方」「静電気で遊ぼう」「水で変身！光のマジック」などのおもしろ理科実験講習を行ったあと、これまでに行った授業実践の報告や自作のデジタルコンテンツ、自作ワークシートなどをもとに、ICT を活用した理科授業についての意見交流を行った。
【成果と課題】	
<ul style="list-style-type: none"> これまで、理科の実験授業をあまり得意としてこなかった若手教員が、実験の進め方を学んだことで、今後、児童の好奇心や探求心をはぐくんだり、想像力や表現力を養う授業実践へと取り組むためのきっかけ作りができた。 実験や実地調査が多く、実践報告や ICT を活用した授業実践交流を十分に行うことができていないので、今後の課題としたい。 	